



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年1月31日

上場会社名 長瀬産業株式会社

コード番号 8012 URL <http://www.nagase.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 長瀬 洋

問合せ先責任者 (役職名) 経理部統括

(氏名) 古川 方理

TEL 03-3665-3103

四半期報告書提出予定日 平成24年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	472,469	△5.4	11,194	△28.0	13,486	△20.8	7,550	△28.1
23年3月期第3四半期	499,316	13.3	15,548	64.6	17,019	62.9	10,502	84.9

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 2,134百万円 (△72.4%) 23年3月期第3四半期 7,742百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	58.75	—
23年3月期第3四半期	81.70	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	386,379	207,596	51.7
23年3月期	375,336	209,316	53.7

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 199,885百万円 23年3月期 201,516百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	9.00	—	13.00	22.00
24年3月期	—	12.00	—		
24年3月期(予想)				12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	630,000	△4.6	15,500	△17.3	17,000	△17.6	10,000	△22.0	77.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ― 社 (社名) 、 除外 ― 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	138,408,285 株	23年3月期	138,408,285 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	9,893,808 株	23年3月期	9,893,808 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	128,514,526 株	23年3月期3Q	128,541,498 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表時現在において、当社が入手している情報および合理的であると判断する前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
4. 補足情報	12
(1) 海外売上高	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

業績全般の概況

当第3四半期までの日本経済は、東日本大震災からの復興の動きが見られるものの、欧州債務危機の影響による海外景気の減速や、歴史的な円高に加えてタイでの洪水の影響などもあり、依然として先行き不透明な状況にあります。

このような状況のもと、当第3四半期連結累計期間の業績は、国内販売は2,737億5千万円（前年同期比7.3%減）、海外販売が1,987億1千万円（同2.7%減）となり、売上高は4,724億6千万円（同5.4%減）となりました。

利益面につきましては、売上高の減少に加え、販売費及び一般管理費の増加により、営業利益は111億9千万円（同28.0%減）、経常利益は134億円8千万円（同20.8%減）、四半期純利益は75億5千万円（同28.1%減）となりました。

セグメント別概況

第1四半期連結会計期間より報告セグメントの区分を一部変更しており、前年同期比の金額および比率については、前第3四半期連結累計期間を当第3四半期連結累計期間において用いた報告セグメントの区分に組替えて算出しております。

【 化成品 】 売上高 : 1,913億9千万円 前年同期比5.7%減

化成品につきましては、機能化学品事業において、塗料原料関連の売上が増加しましたが、ウレタン原料および樹脂原料・添加剤関連は減少しました。色材事業においては、顔料・添加剤関連の売上は微減に留まりましたが、情報印刷関連材料および繊維加工業界向けの染料・繊維加工剤などは減少し、ディスプレイ関連向け機能色素は大幅に減少しました。スペシャリティケミカル事業においては、界面活性剤および加工油剤原料関連の売上が増加したほか、フッ素ケミカルの販売も微増となりましたが、有機合成原料関連が減少したほか、精密研磨関連部材が大幅に減少し、全体として売上が減少しました。

【 合成樹脂 】 売上高 : 1,634億1千万円 前年同期比2.3%減

合成樹脂につきましては、OA・家電関連の事業の売上が中国向けで減少しました。自動車関連の事業は、東日本大震災からの回復基調が続き、事業全体での関連商材の売上は微増となりました。また、機能性フィルム・シート、樹脂成型品を中心とする事業も主力商品を中心に微増となりました。地域別では、東南アジアおよび北米地域は微減に留まったものの、北東アジアで減少した結果、海外全体は減少し、全体として売上が微減となりました。

【 電子 】 売上高 : 827億3千万円 前年同期比8.7%減

電子につきましては、タッチパネル用部材、LED照明用部材、及び重電・携帯電話向け変性エポキシ樹脂の売上が増加しました。一方、半導体および液晶パネル製造用薬液は減少となりました。海外については、全般的に好調に推移しましたが、国内において液晶関連部材の加工ビジネスからの撤退があったため、全体として売上が減少しました。

【 ライフサイエンス 】 売上高 : 342億5千万円 前年同期比9.3%減

ライフサイエンスにつきましては、ファインケミカル事業において、医薬製剤品の売上は増加したものの、医薬品原料・中間体、生活資材や農薬関連の売上が減少したほか、酵素・発酵生産物関連の売上減少により、全体として売上が減少しました。化粧品・健康食品の販売を行うビューティケア製品事業は、第2四半期に上市した新化粧品が堅調に推移しましたが、前期に販売を開始した健康食品が減少し、全体として売上が減少しました。

【 その他 】 売上高 : 6億6千万円 前年同期比5.4%減

特記すべき事項はありません。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債、純資産等の状況

流動資産は、棚卸資産の増加や休日要因による売掛債権の増加等により、前連結会計年度末に比べ150億7千万円増加の2,923億7千万円となりました。固定資産は、時価の下落による投資有価証券の減少等により、前連結会計年度末に比べ40億2千万円減少の940億円となりました。この結果、総資産は、110億4千万円増加の3,863億7千万円となりました。

負債は、休日要因による仕入債務の増加や短期借入金の増加等により、前連結会計年度に比べ127億6千万円増加の1,787億8千万円となりました。

純資産は、当期純利益75億5千万円を計上しましたが、保有株式の時価の下落等によるその他有価証券評価差額金の減少34億円に加え、円高による為替換算調整勘定の減少24億4千万円があったことから、前連結会計年度末に比べ17億1千万円減少の2,075億9千万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の53.7%から2.0ポイント低下し、51.7%となりました。

連結キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益139億8千万円や現金支出を伴わない減価償却費51億6千万円の計上等があったものの、棚卸資産の増加73億5千万円や法人税等の支払額73億8千万円等があったことにより、14億2千万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出63億9千万円等により、78億3千万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払32億1千万円等の支出があったものの、短期借入金の増加64億5千万円等により18億円の収入となりました。

以上のほか、現金及び現金同等物に係る換算差額の減少7億9千万円等により、当第3四半期末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ52億2千万円減少の419億7千万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年10月28日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

(見通しに関する注意事項)

本日(平成24年1月31日)公表いたしました更生会社株式会社林原等の株式取得(完全子会社化)による平成24年3月期連結通期業績への影響は軽微の見込みであるため、本予想には織り込んでおりません。今後業績に重大な影響を与えると判明した場合には速やかにお知らせいたします。

なお、更生会社株式会社林原等の株式取得の詳細につきましては、本日公表いたしました「更生会社株式会社林原等の更生計画認可決定の確定、株式取得(完全子会社化)に関するお知らせ」をご参照下さい。

(当社ホームページ)
<http://www.nagase.co.jp/>

(東京証券取引所ホームページ(上場会社情報検索ページ))
<http://www.tse.or.jp/listing/compsearch/index.html>

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	47,202	42,794
受取手形及び売掛金	186,113	198,403
商品及び製品	34,033	39,076
仕掛品	531	1,171
原材料及び貯蔵品	2,150	2,822
その他	8,464	9,240
貸倒引当金	△1,191	△1,133
流動資産合計	277,304	292,374
固定資産		
有形固定資産	39,916	42,916
無形固定資産	3,674	3,717
投資その他の資産		
投資有価証券	50,726	43,267
その他	4,307	4,271
貸倒引当金	△592	△167
投資その他の資産合計	54,441	47,371
固定資産合計	98,032	94,005
資産合計	375,336	386,379
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	101,679	115,634
短期借入金	15,525	21,026
1年内返済予定の長期借入金	613	5,794
未払法人税等	3,947	2,251
引当金	3,599	2,245
その他	13,152	11,824
流動負債合計	138,517	158,777
固定負債		
長期借入金	10,555	5,298
繰延税金負債	8,810	5,587
退職給付引当金	7,295	8,304
その他	841	814
固定負債合計	27,502	20,005
負債合計	166,020	178,783

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,699	9,699
資本剰余金	10,041	10,041
利益剰余金	181,665	185,888
自己株式	△5,460	△5,460
株主資本合計	195,946	200,168
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,188	9,785
繰延ヘッジ損益	△8	△10
為替換算調整勘定	△7,610	△10,058
その他の包括利益累計額合計	5,570	△282
新株予約権	235	110
少数株主持分	7,564	7,600
純資産合計	209,316	207,596
負債純資産合計	375,336	386,379

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	499,316	472,469
売上原価	443,984	418,670
売上総利益	55,332	53,799
販売費及び一般管理費	39,784	42,604
営業利益	15,548	11,194
営業外収益		
受取利息	138	169
受取配当金	1,067	1,035
持分法による投資利益	228	289
為替差益	226	691
その他	543	837
営業外収益合計	2,204	3,023
営業外費用		
支払利息	418	483
その他	315	249
営業外費用合計	733	732
経常利益	17,019	13,486
特別利益		
固定資産売却益	29	14
投資有価証券売却益	324	1,148
その他	322	131
特別利益合計	677	1,293
特別損失		
固定資産売却損	18	4
固定資産廃棄損	90	109
減損損失	50	435
投資有価証券売却損	70	5
投資有価証券評価損	32	241
その他	450	—
特別損失合計	713	797
税金等調整前四半期純利益	16,983	13,982
法人税、住民税及び事業税	5,815	5,400
法人税等調整額	4	254
法人税等合計	5,819	5,654
少数株主損益調整前四半期純利益	11,164	8,328
少数株主利益	662	777
四半期純利益	10,502	7,550

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	11,164	8,328
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,019	△3,419
繰延ヘッジ損益	△3	△2
為替換算調整勘定	△2,324	△2,701
持分法適用会社に対する持分相当額	△73	△70
その他の包括利益合計	△3,421	△6,193
四半期包括利益	7,742	2,134
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,351	1,697
少数株主に係る四半期包括利益	391	437

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	16,983	13,982
減価償却費	4,627	5,167
売上債権の増減額(△は増加)	△17,776	△20,554
たな卸資産の増減額(△は増加)	△7,012	△7,354
仕入債務の増減額(△は減少)	12,111	20,334
その他	△1,385	△3,617
小計	7,546	7,958
利息及び配当金の受取額	1,365	1,323
利息の支払額	△416	△466
法人税等の支払額	△4,036	△7,388
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,459	1,428
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△4,243	△6,396
投資有価証券の売却による収入	729	1,278
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	—	537
無形固定資産の取得による支出	△1,283	△1,115
その他	△2,000	△2,135
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,798	△7,832
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	4,743	6,459
長期借入金の返済による支出	△47	△1,545
配当金の支払額	△2,313	△3,212
その他	△137	107
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,244	1,808
現金及び現金同等物に係る換算差額	△964	△794
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,059	△5,390
現金及び現金同等物の期首残高	42,807	47,202
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	204	165
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	29	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	41,981	41,977

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	全社 (注) 2	調整額 (注) 3	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 4
	化成品	合成樹脂	電子	ライフ サイエンス	計					
売上高										
外部顧客への 売上高	202,975	167,263	90,618	37,758	498,615	700	499,316	—	—	499,316
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	1,738	1,975	402	320	4,437	3,745	8,183	—	△8,183	—
計	204,714	169,239	91,020	38,078	503,053	4,446	507,499	—	△8,183	499,316
セグメント利益 又は損失(△)	7,003	3,826	4,783	836	16,449	73	16,522	△1,469	495	15,548

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流サービス、情報処理サービス、職能サービス等を含んでおります。

2. 「全社」におけるセグメント利益又は損失(△)は、各報告セグメント及び「その他」に配分していない費用であります。

3. 調整額はすべてセグメント間取引消去によるものであります。

4. セグメント利益又は損失(△)の合計の金額に、「全社」および調整額を加えた額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ライフサイエンス」セグメントの遊休資産について、時価の著しい下落により、帳簿価額を回収可能価額まで減額しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において50百万円であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	全社 (注) 2	調整額 (注) 3	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 4
	化成品	合成樹脂	電子	ライフ サイエンス	計					
売上高										
外部顧客への 売上高	191,399	163,416	82,734	34,256	471,807	662	472,469	—	—	472,469
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	1,667	2,375	561	498	5,103	3,854	8,957	—	△8,957	—
計	193,066	165,792	83,296	34,754	476,910	4,516	481,426	—	△8,957	472,469
セグメント利益 又は損失(△)	5,624	2,613	4,870	455	13,564	129	13,694	△3,024	525	11,194

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流サービス、情報処理サービス、職能サービス等を含んでおります。
2. 「全社」におけるセグメント利益又は損失(△)は、各報告セグメント及び「その他」に配分していない費用であります。
3. 調整額はすべてセグメント間取引消去によるものであります。
4. セグメント利益又は損失(△)の合計の金額に、「全社」および調整額を加えた額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。
5. 報告セグメントの変更等に関する事項
- 第1四半期連結会計期間から、より一層のシナジー効果を図るため、従来「電子」セグメントに含まれていた精密研磨関連資材・太陽電池関連資材・ハードディスク関連資材を取り扱うビジネスを「化成品」セグメントに区分変更しております。
- また、前連結会計年度の対応する四半期連結累計期間について、変更後の区分方法により作成した報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報を記載しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「電子」セグメントにおいて、中国での液晶パネル用部材の加工事業からの撤退に伴い、当該事業用資産について、帳簿価額を回収可能価額まで減額しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において300百万円であります。

「その他」セグメントにおいて、子会社が運営している一部の駐車場閉鎖に伴い、当該事業用資産について、帳簿価額を回収可能価額まで減額しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において81百万円であります。

「ライフサイエンス」セグメントの遊休資産について、時価の著しい下落により、帳簿価額を回収可能価額まで減額しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において54百万円であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 海外売上高

前第3四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

	北東アジア	東南アジア	北米	欧州・他	計
I 海外売上高(百万円)	118,366	59,188	14,904	11,669	204,128
II 連結売上高(百万円)					499,316
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	23.7	11.9	3.0	2.3	40.9

当第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

	北東アジア	東南アジア	北米	欧州・他	計
I 海外売上高(百万円)	115,699	56,129	16,346	10,538	198,713
II 連結売上高(百万円)					472,469
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	24.5	11.9	3.5	2.2	42.1

- (注) 1. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。
 2. 国又は地域の区分の方法は、地理的近接度によっております。
 3. 各区分に属する主な国又は地域
 (1) 北東アジア …………… 台湾、中国
 (2) 東南アジア …………… シンガポール、タイ
 (3) 北米 …………… 米国
 (4) 欧州・他 …………… ドイツ